

“写真で見る”「平成23年7月新潟・福島豪雨」における福島赤十字病院の活動

7月30日(土)～31日(日) 第1救護班

活動場所:南会津郡只見町 只見小学校・朝日地区センター



只見町へ入るにあたり、複数個所で道路が寸断されているという情報から、白河方面から向かうこととなりました。



まずは山口土木事務所へ向かい、同職員の先導で明和地区センターへ向かいました。ここでは情報収集を行いました。



目的地を只見小学校に設定し、現地職員の先導で向かいます。



雨はあがったものの、川の水位は高いままで、濁流となっていました。



我々が運び入れた救援物資の他にも、各地から支援物資が送られてきました。



自衛隊や警察のヘリも出動し、救助活動や物資の搬送を行っていました。



只見小学校内に救護所を設営するとともに、巡回診療を行いました。



医療ニーズは様々で、薬を流されてしまった人や怪我をした人、体調不良を訴える人など多岐にわたります。



医師による診察だけでなく、看護師による問診や血圧・体温の測定なども行います。



翌朝、地域住民の方々は早朝から後片付けに追われていました。



川が氾濫した際に流されたようでした。



只見町から金山町に抜ける道路は、落橋や土砂崩れなどの影響により、通行止めとなっていました。



上流にある只見ダムから放水が行われていて、未だ川の水位は非常に高いままでした。



只見小学校のあとには朝日地区センターへ向かい、救護所を設営して医療活動にあたりました。



「平成23年7月新潟・福島豪雨」の被害は大きく、両県に大きな爪痕の残りました。